

# 持ち運びが簡単で高い捕獲能力を持つ アブ捕殺用トラップ

## 《アブ防除に必要なトラップ》

アブは吸血行動によって牛に大きなストレスを与えたり、病気を伝搬したりするため、その防除対策が求められています。アブの防除手段として現実的なものはトラップによる捕殺ですが、これまでのトラップは大きくて重く、山間の牧野に多くのトラップを設置しようとすると運ぶのが大変でした。また、東北地方のように積雪の多い地域では、冬の間の保管場所の問題もありました。吸血昆虫用トラップは炭酸ガスを使う物が多いですが、牧野に多くのトラップを設置する場合、炭酸ガスはポンベの運搬や費用の問題があり使えません。そこで、農業用のシートとビニールハウス用のパイプや金具を利用して、持ち運びや保管が楽なように軽くて折りたため、炭酸ガスを使わずに高い捕獲能力を持つトラップを開発しました（写真）。

設置状態

折り畳んだ状態



## 《開発したトラップ》

このトラップは下の黒い部分（誘引体）の視覚的効果でアブをおびき寄せ、上の透明な捕虫部で捕らえます。黒い部分を図のような型にすることで、炭酸ガスを使わずにおびき寄せたアブの多くを上部の捕虫部に導くことができます。これまでの炭酸ガスを使わないトラップでは、牛の背中側から吸血する種類のアブをあまり捕獲できませんでしたが、このトラップではこのような種類もよく捕れます。

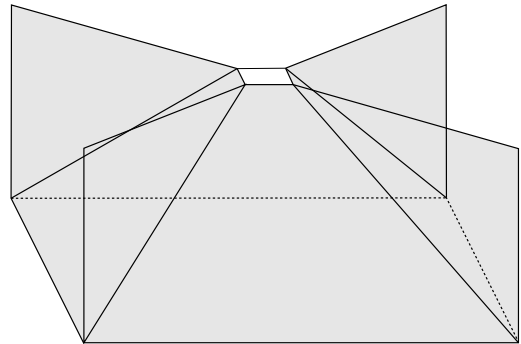


畜産飼料作研究領域  
(現：中央農業研究センター)

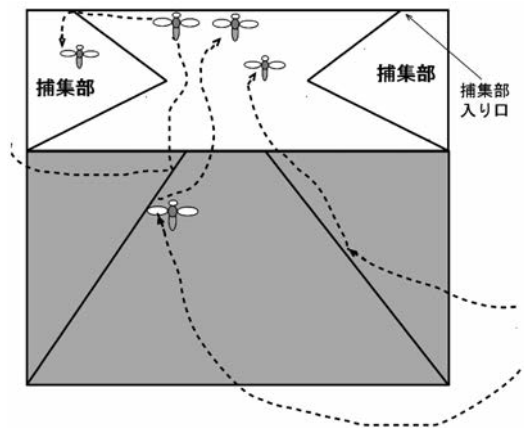
白石昭彦

SHIRAIISHI, Akihiko

誘引体見取り図



トラップに飛来したアブが捕まる仕組み



このトラップは視覚的にアブをおびき寄せるので、周囲から見えにくい場所に設置すると、あまりアブが捕れません。必ず広い範囲から見える場所に設置して下さい。またトラップがシート製のため、支柱が真っ直ぐ立つように設置しないとトラップ本体が歪んでしまい、アブが捕れなくなるので注意が必要です。

実際にこのトラップを設置した牧野では、これまで捕獲できなかった種類も含め多くのアブを捕殺できています。アブ対策の必要な牧野や観光施設では、このトラップをご利用ください。